


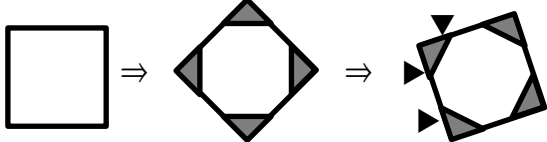


クラフトプログラム「マイはしづくり」

			
対 象	小学校高学年以上	人 数	200 名程度まで
所要時間	1～1.5 時間程度	天 候	雨天可（雨天のみの実施も可）
概 要	<p>毎日の食事ですることのできる「おはし」を自分の手でつくってみませんか。作業は削って、削って…、磨いて、磨いて…と簡単なように見えますが、根気よく作業をつづけていくことにより「ものづくり」の面白さや楽しさを感じることができるプログラムです。自分の手で作り上げた自分専用の箸には、きっと誰もが愛着が湧いてくることと思います。</p>		
活動場所	<p>工作棟、炊事工作棟工作室（村内の各広場・コテージ・各室内でも実施可能）</p>		
料 金	<p>1 セットあたり 350 円 ※必ず最新の料金をご確認ください。</p>		
用 具	<p>個人での持参品 <input type="checkbox"/> 軍手（防刃手袋や耐切創性のある作業手袋などがあるとベスト） <input type="checkbox"/> 新聞紙</p> <p>団体での持参品 <input type="checkbox"/> 救急用品 <input type="checkbox"/> 予備の軍手 <input type="checkbox"/> 新聞紙（個人で用意しない場合）</p> <p>ふれあいの村での準備品 <input type="checkbox"/> マイはしセット <ul style="list-style-type: none"> ・はし用角材（0.9cm×0.9cm×長さ20cmの角材 2本1組） ・紙やすり（3枚セット） <input type="checkbox"/> クラフトナイフ <ul style="list-style-type: none"> ・右利き用（60本程度）、左利き用（10本程度）、両利き用（140本程度）があります※1 令和2年5月現在 </p>		
当日までの準備	<p>プログラム実施に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> プログラム実施の予約 ⇒ 「活動計画書」への記載をお願いします <ul style="list-style-type: none"> ・活動施設の確保はできていますか？（特に雨天用プログラムとして実施する場合） <input type="checkbox"/> 準備品の申込み <ul style="list-style-type: none"> ・マイはしセットの申込みはできていますか？ ・持参品の用意や周知はできていますか？ <input type="checkbox"/> 引率者間でのプログラム運営方法の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・引率者間での役割は決まっていますか？（小刀の使い方についての全体指導、作業テーブルを巡回しながらの安全管理、等） ・雨天プログラムの場合、天候判断のルールは決まっていますか？ 		

クラフトプログラム「マイはしづくり」

	進 行	備 考
<p>当日の流れ</p>	<p>①実施準備</p> <ul style="list-style-type: none"> □個人での持参品、団体での持参品の準備 □管理棟事務所での必要物品の受け取り <p>②作業開始</p> <p>1) クラフトナイフを使い、材料となる木材を削っていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶どこか一か所だけを削るのではなく、全体のバランスをみながら少しずつ削り進めます。 ▶角材を回しながら、角を取るように材料を削っていく。 <p>※下の図のように、材料の断面を見た際に、四角形を八角形に、八角形から十六角形となるようなイメージ。</p>  <p>▶箸の先端部分は、作業中に折れてしまうことを防ぐため、作業の最初の段階で一度に細くしすぎないように気をつける。</p> <p>2) 紙やすりを使用し、はしを磨く</p> <p>ある程度削ることができたら、はしを持った時や食べる際にささくれ等でケガをしないように、紙やすりで表面が滑らかになるように磨く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶紙やすりは3種類の粗さがあります。はしを磨くときは、目の粗い紙やすりから目の細かい紙やすりへと、順番に使うようにする。 <p>3) 仕上げ</p> <p>文字や模様を彫るなど自由に行い、自分なりのアレンジを加えていく。</p> <p>4) 完成</p> <p>自分専用のはしの出来上がり。</p> <p>④後片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 散らかった木くず等の掃除 2) 使用済みのやすりの片付け 3) 貸出備品類の返却 	<p>⇒雨天用プログラムとして検討をされる場合は実施の最終判断をご連絡ください。</p> <p>⇒指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ※軍手の着用を徹底する。 ※刃物を扱うため、周りの人や、隣の人との距離を保つようにする。 ※クラフトナイフには右利き用、左利き用、両利き用があるため、適当なものを使用する。 ※角材を削る際に、多量の木くず・削りカスが出るため作業する机に新聞紙を敷くようにする。 <p>⇒プラスαの作業</p> <p>彫刻刀などを使うことで、模様などを彫る作業を行うことができるようになる</p> <p>⇒プラスαの作業</p> <p>箸を持ち帰った後、さらにアマニ油・エゴマ油・オリーブオイルなどを塗り込むことによって耐久性を上げることができる。</p>